

被災地における実証に関する報告

平成25年3月27日

東北地域医療 ICT 連絡会について

1. 開催概要

- 総務省・厚生労働省が支援し、宮城県において実施している「東北メディカル・メガバンク計画（MMWIN事業）」及び総務省が実施する「健康情報活用基盤構築事業」について、事業の取組状況を関係者間で共有し、医療ICTインフラの構築を進めるため、情報共有・意見交換の場として設置。
- 主な検討事項
 - MMWIN事業及び健康情報活用基盤構築事業の進捗について
 - 健康情報活用基盤構築事業の成果のMMWIN事業への活用方策について

2. 構成員

氏名	役職等	
石橋 悟	石巻赤十字病院地域医療連携室副室長	各フィールド関係事業者
蒲生 真紀夫	大崎市民病院がんセンター長	宮城県保健福祉部医療整備課
國井 重男	東北大学病院メディカルITセンター	内閣官房健康・医療戦略室
清水 宏明	みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会事務局長	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
富永 悌二(主査)	東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野教授 (東北メディカル・メガバンク機構医療情報ICT部門 部門長)	厚生労働省医政局研究開発振興課医療情報技術推進室
中村 直毅	東北大学情報基盤室	総務省東北総合通信局
中谷 純	東北大学医学部・大学院医学系研究科 (東北メディカル・メガバンク機構医療情報ICT部門 副部門長)	総務省情報流通行政局情報流通高度化推進室
成田 徳雄	気仙沼市立病院脳神経外科	
武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック理事長	

3. 開催状況

- 第1回:平成24年12月14日 (各事業の進捗報告)
- 第2回:平成25年 2月13日 (MMWIN事業と実証事業との成果の共有について)
- 第3回:平成25年 3月15日 (取りまとめ)

(参考)在宅医療・訪問介護連携モデル事業 ー宮城県石巻市、東京都内

事業概要

◆ 在宅医療・訪問介護等の多職種間連携の在り方の検討

在宅医療・訪問介護等の多職種間による連携を行うため、共有すべき情報項目や共有すべき範囲等を整理。

◆ クラウドやモバイル端末を活用した多職種間連携の実現

クラウドやタブレット端末・スマートフォン等を活用すると共に、使いやすいインターフェースを用いて、患者のバイタル情報やケア基礎情報を多職種間で共有するシステムを構築。

現時点の主な成果

- インタフェースの標準化を意識しながらシステムを構築。
- **介護職等から医療職への相談が増加する等、連携の円滑化が促進されている。特にケアマネの連絡負荷軽減。**
- 関係者間で適切に情報共有を行うことにより、在宅医療・訪問介護の質を高めると共に、地域在宅医療体制の構築に貢献
- **MMWIN事業のシステムとの連携(石巻市)について検討。**



在宅での診療の様子

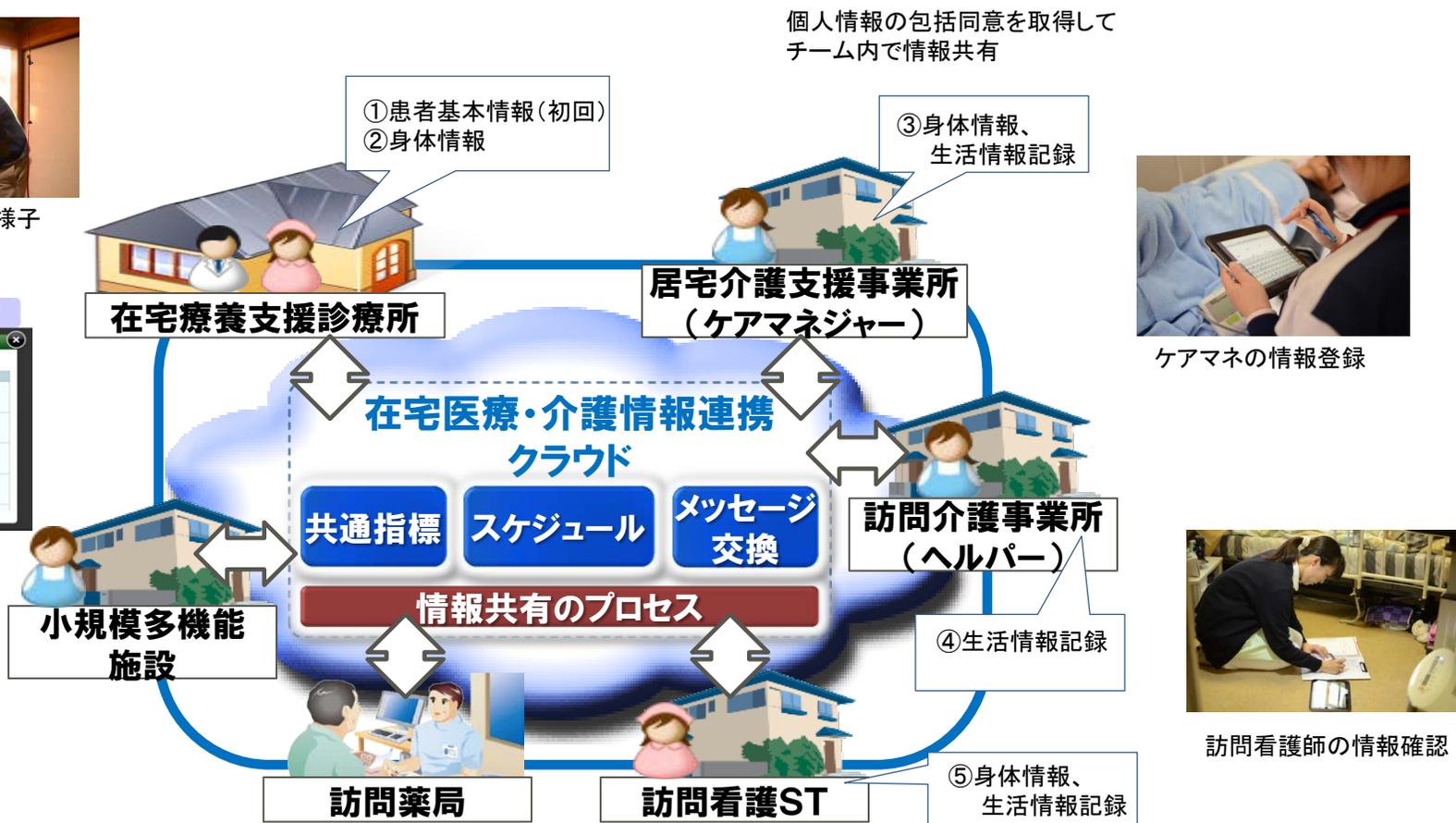
患者・利用者に連携する事業所のスケジュール閲覧

2012年 12月	月表示 日表示						
(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
25	介護事業所	在宅診療所	介護事業所	30	1		
2	介護事業所	訪問	介護事業所	6	7	8	
9	介護事業所	在宅診療所	12	13	14	15	
16		訪問	19	20	21	22	

スケジュールの共有



患者情報確認



ケアマネの情報登録



訪問看護師の情報確認

(参考)医療ICカードを活用した医療情報連携基盤構築の実証 — 宮城県大崎市・栗原市

事業概要

現時点の主な成果

- ◆ **医療ICカードを介した医療関係者間の情報共有の実現**
必要最低限の患者情報・診療情報をICカードに格納し、医療関係者(医師、薬剤師、救急隊等)間で情報を共有。
- ◆ **災害発生時の医療ICカードの有用性を検証**
災害発生時の避難所診療等において、医療ICカードが有効であるか検証を実施。

- 標準規格をベースとしたシステムを構築。
- 医療機関・調剤薬局・救急隊間において安全かつ円滑な情報連携を実現。
- 災害時に通信途絶しても、医療ICカードから必要な情報を取得できることで、効果的な災害時医療の実施が期待される。
- **MMWIN事業のシステムへ実証成果を活用。**

病院・診療所



- 他医療機関が登録した患者情報を、診療時に参照。
- 救急隊が登録した搬送患者の情報を、病院到着前に参照。



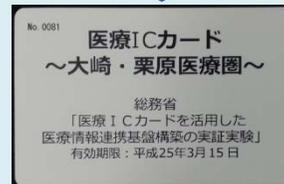
- 現場で搬送患者の持つICカードを参照し、処置に活用

救急隊

- 医療機関の電子カルテから、患者情報・診療情報を取得し、ICカードを発行
- ICカードには最低限のデータを格納。医療情報連携基盤には加えて履歴データを格納

医療情報連携基盤／
医療ICカード発行基盤

- ・患者基本情報
- ・処方情報
- ・診療メモ 等



調剤薬局



- 調剤時に患者情報を参照し、飲み合わせチェック等に活用



- 災害発生時に被災者の持つICカードの患者情報を参照し診療。また診療メモをカードに登録。

避難所

在宅医療・介護連携モデル事業

- ① 構築した情報連携システムについて、MMW I N事業のシステムと接続し、情報連携を検討
 - 共有する情報項目（案）
 - 1) 患者 I D、氏名などの基本情報
 - 2) 「在宅チームケア」に入っている情報から、MMW I Nと連携すべき情報を抽出（バイタル、処置、薬等）
- ② 基本情報、生活情報、身体情報等の在宅医療・介護の多職種間連携において共有すべき情報項目を検討し、MMW I N事業に成果を提供

医療ICカードを活用した医療情報連携基盤構築事業

- ① 医療 I Cカードの導入に係るノウハウについて、MMW I N事業に成果を提供
 - 医療機関間連携、医薬連携、救急、災害の各場面における、I Cカードに格納すべきデータ項目
 - 医療情報連携において I Cカードを使用する際、運用面、システム面で考慮すべき点
- ② 共通 I Dに係るノウハウについて、MMW I N事業に成果を提供
 - MMW I N事業における共通 I D 番号体系に沿って付番した実証 I D について、運用を通じた課題を整理、検討